

株式会社神明(兵庫県神戸市)

【主な品目】

コメ・コメ加工品

【主な輸出先国・地域】

香港、豪州、米国、
英国、シンガポール

【輸出取組の概要】

- 平成22年から輸出に取り組み、香港、豪州、米国等へ輸出。米国、香港等へ営業拠点を設置し、現地のニーズに即した販売促進活動を実施。
- 精米工場において食品安全マネジメントシステムの国際規格FSSC22000を取得。
- 気温の高い香港の気候に合わせた真空包装袋による業務用米を販売。ノルウェー企業との連携により、無菌包装米飯のプライベートブランド商品を開発。

【輸出実績】（平成22年から輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成28年度	41,412	1,977	通年
平成27年度	31,278	1,798	
平成26年度	23,104	1,218	

輸出に取り組んだきっかけ

- ・ 人口減少や高齢化などにより国内マーケットが縮小していく中、近年海外では、香港やシンガポールを中心に和食のブームが続いています。このような海外の情勢を踏まえ、日本のお米のおいしさを海外に伝えていくべく、輸出の取組を開始しました。海外現地のお米との競争については、様々な課題がありますが、この機会をチャンスととらえて拡販に取り組んでいます。
- ・ 積極的に日本産米をPRした結果、高い品質面で高評価を得たため、輸出拡大に繋がるきっかけとなりました。
- ・ 香港、中国、アメリカに現地法人を設立し、この法人を営業拠点としてユーザーへの提案を行っています。

取り組む際に生じた課題

- ・ 輸出に取り組む上で、現地の消費動向やニーズ等の輸出に関する情報が不足し、収集も困難という状況でした。取組がスタートした後も、日本国内の輸出商社を通じた販売がメインで、同様の状況が続きました。
- ・ 高温多湿の輸送環境により、品質劣化の問題が発生しました。
- ・ 米の輸出にかかる流通コストが高いため、その軽減に向けた取組が必要となりました。
- ・ 国によっては、お米を調理する習慣自体が根付いていませんでした。



現地スーパーでの販売の様子

生じた課題への対応

- ・ 全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会に参加して、見本市等でのPR活動と併せて現地情報の収集に努めました。また、現地のマーケットやユーザーに密着して営業活動ができるよう、香港・中国・アメリカの3拠点に現地法人を設立しました。
- ・ 真空包装袋を導入し、品質保持期間を飛躍的に伸ばしました。
- ・ 精米のみではなく、無菌米飯や乾麺を販売することにより、販路を拡大し、輸出コストの低減を図りました。
- ・ 炊飯方法に加えて、現地の食習慣に即したメニューやレシピを提案しました。特にアメリカにおいては、日本米を使用した冷凍ライスパテを製造してデモンストレーションを行いました。

対応の結果

- ・ 海外見本市で多業種の企業と交流することにより、新たな販路を拡大することができました。また、現地法人を設立したことで、現地資本企業も含めた様々な企業との商談が可能となり、日本米販売のチャンスが増えました。
- ・ 真空包装袋の導入により、海上輸送や現地保管中の品質劣化リスクを回避できるようになり、販売拡大に繋がりました。
- ・ 精米工場で食品マネジメントシステムFSSC22000を取得したことにより、安心して安全な日本産米を世界へアピールすることができました。加えて、マスコミ等に取り上げられたことで、知名度とイメージが向上しました。
- ・ 日本米を使用した冷凍ライスパテは好評で、新たなメニュー開発の必要性を感じました。

今後の課題・展望

- ・ 現地法人及び国内商社と一層の連携を図り、平成29年度は輸出量2,200tを目標とします。特に28年度から輸出を開始した中国マーケットを開拓し、日本米の普及と定着を目指します。
- ・ 海外の日本食レストランを中心に提案し、現地米からの置き換えを進めます。
- ・ 普段お米を食べない消費者層への浸透を目的に、冷凍ライスパテの販売等、従来とは異なる新規メニューの提案を推進します。



現地でのPR活動

【活用した支援・施策】 全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会に参加

【ウェブサイト】<http://www.akafuji.co.jp/>

【連絡先】担当者名：臼井・前川、TEL:078-371-2291